

不妊治療と仕事の両立に悩み治療終了した症例から～不妊治療で得たもの～

社会での女性の活躍と同時に不妊治療との両立に悩む女性が増加しています。平成 29 年度厚生労働省の調査では仕事と不妊治療の両立ができず 16%が離職と発表されました。

当院の 2018 年 1 月から 7 月の間での初診女性患者有職率を調べたところ 65.9%と、仕事をしている女性が多いことがわかりました。

今回は不妊治療と仕事の両立に悩む方の看護についての発表をしてきました。

仕事との両立に苦慮しながら不妊治療を続けられていましたが、仕事を優先し、不妊治療を辞められました。決してネガティブな印象ではなく、「この経験での気づきこそが不妊治療で得た財産」と前向きにこれからの人生、ライフスタイルを考えた決断でした。

共働き夫婦の増加とともに、不妊治療と仕事の両立を支えることは、私たち不妊治療に携わる看護師の大きな課題です。

当院では看護師による面談を実施しています。治療と仕事の両立について悩んでいる、または今後の治療スケジュールについての確認をしたいなど、どんどん看護師を活用し、気持ちの整理やスケジュールの把握にお役立てください。

また、厚生労働省が推奨する、職場とクリニックの架橋となる「不妊治療連絡カード」もご活用ください。（詳しくは厚生労働省 HP「仕事と不妊治療の両立について」をご覧ください <https://www.mhlw.go.jp/bunya/koyoukintou/pamphlet/30.html>）

今後も、今まで以上に不妊治療と仕事の両立に悩むご夫婦のより良いサポートに努めていきたいと思えます。